

主機等オーバーホール

基本情報

組織情報	府省庁	防衛省				
	事業所管課室	防衛省 防衛装備庁 プロジェクト管理部 事業監理官（艦船担当）				
	作成責任者	西村浩二				
	その他担当組織	--				
基本情報	予算事業ID	005158	事業開始年度	1991	事業終了（予定）年度	終了予定なし
	事業年度	2025		事業区分	前年度事業	
政策・施策	政策所管	政策	施策		政策体系・評価書URL	
	防衛省	I-1 我が国自身の防衛体制の強化（自衛隊の能力等に関する主要事業）	(7) 持続性・強靱性		https://www.mod.go.jp/j/policy/hyouka/seisaku/pdf/kihonnkeikaku05.pdf	
関連事業	--		主要経費	防衛関係費		
概要・目的	事業の目的	艦艇に搭載されている推進用及び発電用原動機（以下「主機等」という。）は、艦艇の航行や活動に直接的に関わる最も重要な装備品の一つであり、主機等ごとの高い信頼性が要求されることから、信頼性を保証できる累計運転時間を定めている。累計運転時間に達した主機等の開放検査及び部品交換等（以下「オーバーホール」という。）を実施することによって信頼性を回復させ、当該主機等（オーバーホールを実施済みの主機等。以下「予備機」という。）を部隊に提供することにより、艦艇の可動率向上に寄与する。				
	現状・課題	主機等のオーバーホールを実施するには、相当の期間を要するため、予めオーバーホールを実施済みの予備機を準備し必要な艦艇に搭載している。艦艇の可動率を維持・向上させるためには、規定の累計運転時間に達した主機等のオーバーホールを実施する際に速やかに交換できるよう、常に予備機を確保しておく必要がある。他方、予算を効率的に使用するため、主機等ごとに運転データを収集し、オーバーホール間隔（規定の運転時間）の延伸について継続的に検討し、経費削減にも努める必要がある。				
	事業の概要	令和4年12月に策定された国家防衛戦略及び防衛力整備計画においては、我が国自身の防衛体制の強化、継戦能力を確保するための持続性・強靱性の強化の取り組みの一環として、防衛装備品の可動数向上が規定されている。 主機等は、艦艇の航行に直接的に関わる最も重要な装備品の一つであり、信頼性を確保するため、規定の運転時間に達した時点でオーバーホールを実施する必要がある。 これらの主機等のオーバーホールの実施には、約4～10か月の期間を要し、その間、艦艇が非可動状態になるため、当該主機等のオーバーホールに当たっては、予めオーバーホールを実施した予備機と交換する方式を採用している。 本事業は、規定の運転時間に達し艦艇から陸揚げした主機等について、製造会社等と役務契約を締結し、オーバーホールを実施の上、予備機として確保するものである。				
	事業概要URL	https://www.mod.go.jp/j/policy/hyouka/rev_suishin/r04/rev_fin_r03_list.html#No8				

根拠法令	法令名	法令番号	条	項	号・号の細分
	防衛省設置法	昭和二十九年法律第百六十四号	第四条	1	十三
関係する計画・通知等	計画・通知名	計画・通知等URL			
	平成31年度以降に係る防衛計画の大綱、中期防衛力整備計画（平成31年度～平成35年度）（平成30年12月18日国家安全保障会議決定及び閣議決定）	--			
	国家防衛戦略、防衛力整備計画（令和4年12月16日国家安全保障会議決定及び閣議決定）	https://www.mod.go.jp/j/policy/agenda/guideline/index.html			
実施方法	直接実施				
補助率等	補助対象	補助率	補助上限等	補助率URL	
	--	--	--	--	
備考	本事業に合わせて実施している経費削減の取組み（①オーバーホール間隔の延伸 ②部品の国産化）を、アクティビティ（番号102、103）として効果発現経路に記載する。				

予算・執行

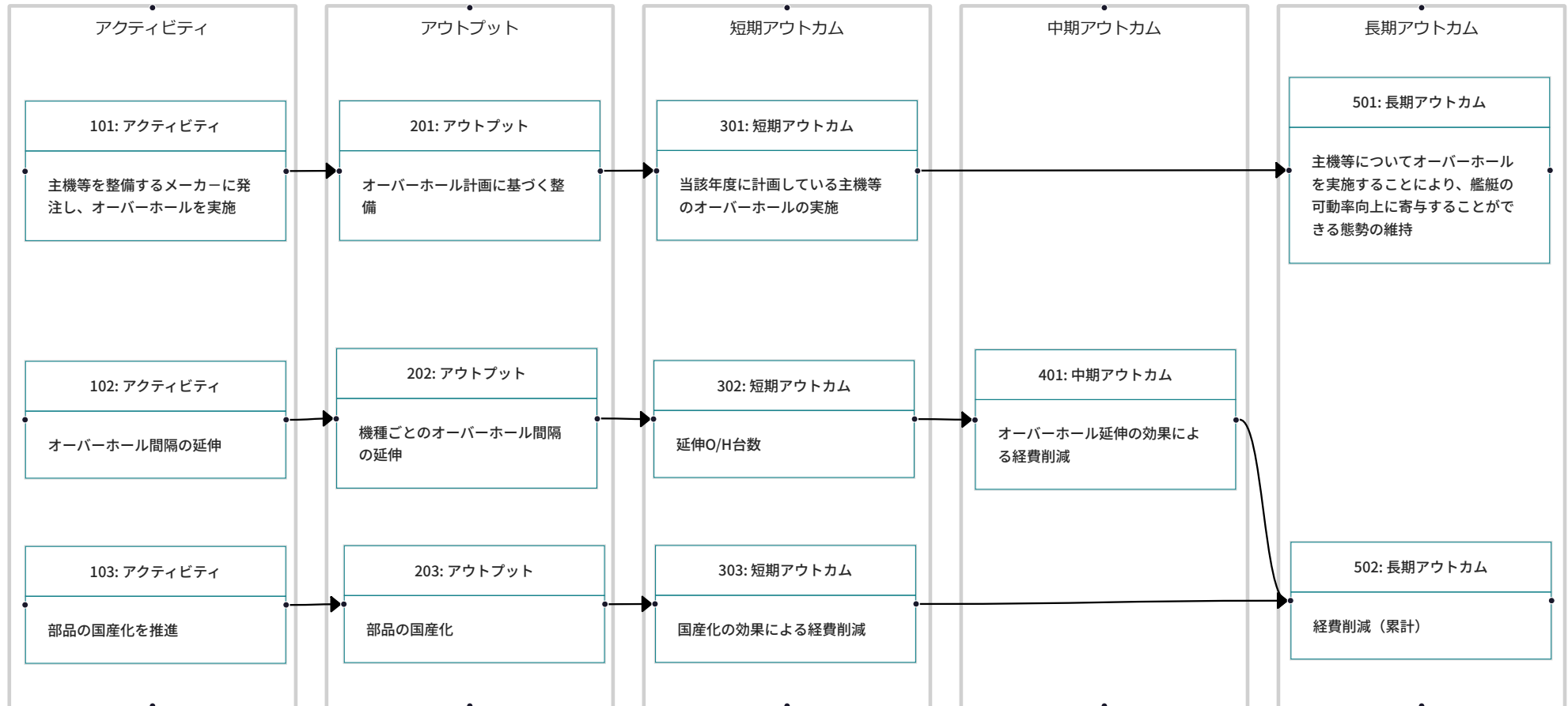
予算額執行額表 (単位：千円)			2022	2023	2024	2025	2026
	要求額		12,131,000	11,625,000	11,084,000	11,087,952	--
	当初予算		13,004,000	11,588,000	11,126,665	11,092,281	--
	補正予算		--	--	--	--	--
	前年度から繰越し		--	--	189,571	--	--
	予備費等		--	--	1,845,495	--	--
	計		13,004,000	11,588,000	13,161,731	11,092,281	--
	執行額		9,972,000	13,284,501	13,161,731	--	--
	執行率		76.7%	114.6%	100%	--	--

予算内訳表 (単位：千円)	会計区分	会計	勘定	要望額	備考		
	一般会計	一般会計	--		--	--	
		予算種別/歳出予算項目			備考	予算額	翌年度要求額
	当初予算	一般会計 / 防衛省 / 防衛本省 / 艦船整備費 / 艦船修理費		--	11,092,281	--	

主な増減理由	その他特記事項
--	2023年度は「主機等オーバーホール」と「艦船修理費（海自）」の事業間における予算の組替があるため、執行率が114.6%となっているが、組替後の執行率は100%となっている。

効果発現経路

活動・成果目標等のつながり



アクティビティからの発現経路 101-201-301-501

アクティビティ	主機等を整備するメーカーに発注し、オーバーホールを実施					
アウトプット	活動目標	オーバーホール計画に基づく整備		活動指標	オーバーホールを実施した主機等の整備台数	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	--	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	
活動・成果目標と実績		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
	当初見込み／目標値(台)	147	136	126	90	124
	活動実績／成果実績(台)	150	97	100	--	--
↓ 後続アウトカムへのつながり	当該年度に計画している主機等のオーバーホールを確実に実施することでアウトプットとしている全体のオーバーホール計画に基づく整備の達成に寄与する。					
短期アウトカム	成果目標	当該年度に計画している主機等のオーバーホールの実施		成果指標	当該年度にオーバーホールを実施した主機等の整備台数	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	各年度の主機等のオーバーホール実績台数	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	
活動・成果目標と実績		2022年度	2023年度	2024年度	目標年度 2025年度	
	当初見込み／目標値(台)	147	136	126	90	
	活動実績／成果実績(台)	150	97	100	--	
	達成率(%)	102	71	79	--	
↓ 後続アウトカムへのつながり	主機等のオーバーホールを計画どおり実施することで、艦艇を計画外で止めることなく運用が可能となり、艦艇の可動率向上に寄与する。					

長期アウトカム	成果目標	主機等についてオーバーホールを実施することにより、艦艇の可動率向上に寄与することができる態勢の維持	成果指標	ガスタービン搭載艦艇数
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	各年度の主機等オーバーホールの整備実績
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--

活動・成果目標と実績		2022年度	2023年度	2024年度	最終目標年度 2025年度
	当初見込み／目標値(隻)	62	64	66	67
	活動実績／成果実績(隻)	62	64	66	--
	達成率(%)	100	100	100	--

アクティビティからの発現経路 102-202-302-401-502

アクティビティ	オーバーホール間隔の延伸				
アウトプット	活動目標	機種ごとのオーバーホール間隔の延伸		活動指標	オーバーホール間隔延伸機種数
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	オーバーホール間隔を延伸した機種の数
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--
活動・成果目標と実績		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
	当初見込み／目標値(機種)	0	0	1	1
	活動実績／成果実績(機種)	0	0	1	--
↓ 後続アウトカムへのつながり	オーバーホールの時間数に到達するまでの使用期間が延伸するため、オーバーホールを実施する台数が低減する。				
短期アウトカム	成果目標	延伸O/H台数		成果指標	延伸したオーバーホール間隔（使用時間数）でのオーバーホール実施台数
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	延伸したオーバーホール間隔（使用時間数）でのオーバーホール実施台数（実績）
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--
活動・成果目標と実績		2022年度	2023年度	2024年度	目標年度 2025年度
	当初見込み／目標値(台)	31	36	30	27
	活動実績／成果実績(台)	31	36	30	--
	達成率(%)	100	100	100	--
↓ 後続アウトカムへのつながり	オーバーホール間隔延伸によってオーバーホール実施台数が低減することによって、経費が節減される。				

中期アウトカム	成果目標	オーバーホール延伸の効果による経費削減	成果指標	経費削減額（単年度）
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	延伸したオーバーホール間隔によるオーバーホール台数での実績オーバーホール費用と、延伸しなかった場合のオーバーホール台数での差額データ ※年度によりオーバーホール実施台数に山と谷があるので、単年度内での差額はマイナスとなる年度があるが、中長期では総合でプラス（経費削減）となる。 ※オーバーホール間隔の延伸に要した費用を計算に含まない、単年度での単純差額。 ※オーバーホール間隔の延伸に要した費用を除いた純削減効果は、累計（長期アウトカム）で計上・確認する。
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--

活動・成果目標と実績		2022年度	2023年度	2024年度	目標年度 2025年度
	当初見込み／目標値(千円)	△1,010,402	△563,162	4,592,285	3,570,345
	活動実績／成果実績(千円)	△1,010,402	△563,162	4,592,285	--
	達成率(%)	100	100	100	--

↓ 後続アウトカムへのつながり	長期の集計で、累計での経費節減を確認
--------------------	--------------------

長期アウトカム	成果目標	経費削減（累計）	成果指標	主機等オーバーホール経費の削減額（累計） ※延伸と国産化の両方の削減効果の合計（その累計） ※延伸／国産化費用を差し引いた純削減効果額
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	事業開始からの削減額の累計 ※延伸と国産化の合計
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--

活動・成果目標と実績		2022年度	2023年度	2024年度	最終目標年度 2025年度
	当初見込み／目標値(千円)	13,638,485	15,778,067	24,150,088	28,296,843
	活動実績／成果実績(千円)	13,794,417	15,927,810	24,374,924	--
	達成率(%)	101.1	100.9	100.9	--

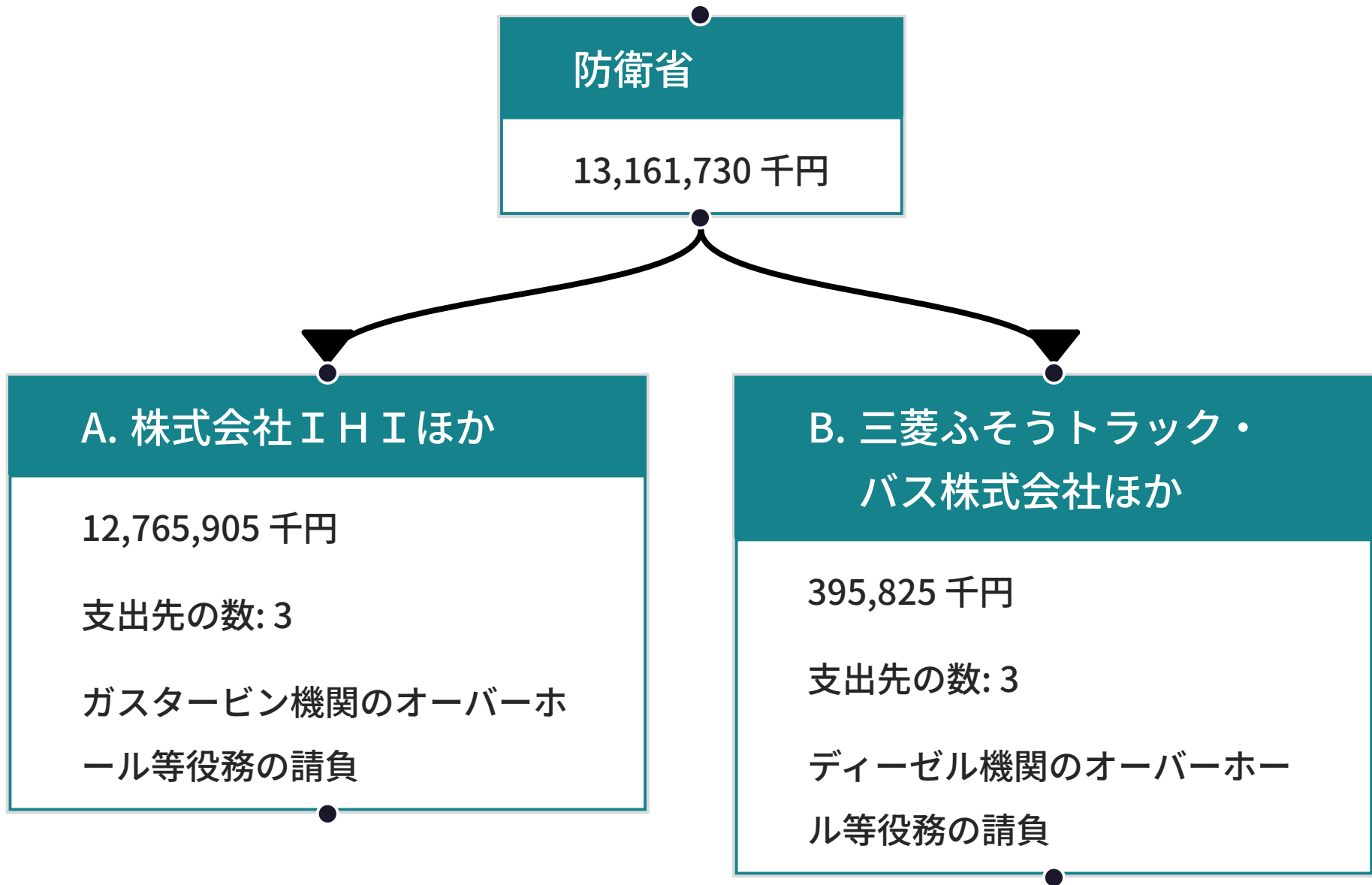
アクティビティからの発現経路 103-203-303-502

アクティビティ	部品の国産化を推進				
アウトプット	活動目標	部品の国産化		活動指標	国産化品目数
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	国産化した部品の品目数
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--
活動・成果目標と実績		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
	当初見込み／目標値(品目)	233	121	42	0
	活動実績／成果実績(品目)	233	121	42	--
↓ 後続アウトカムへのつながり	部品の国産化によって、経費が節減される。				
短期アウトカム	成果目標	国産化の効果による経費削減		成果指標	経費削減額（単年度）
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	国産化品目の実績価格と輸入価格の差額データ ※国産化に要した費用を計算に含まない、単年度での単純差額。 ※国産化に要した費用を除いた純削減効果は、累計（長期アウトカム）で計上・確認する。
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--
活動・成果目標と実績		2022年度	2023年度	2024年度	目標年度 2025年度
	当初見込み／目標値(千円)	2,390,000	2,290,000	3,450,000	4,780,000
	活動実績／成果実績(千円)	2,139,178	3,211,944	4,370,219	--
	達成率(%)	89.5	140.3	126.7	--
↓ 後続アウトカムへのつながり	長期の集計で、累計での経費節減を確認				

長期アウトカム	成果目標	経費削減（累計）	成果指標	主機等オーバーホール経費の削減額（累計） ※延伸と国産化の両方の削減効果の合計（その累計） ※延伸／国産化費用を差し引いた純削減効果額	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	事業開始からの削減額の累計 ※延伸と国産化の合計	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	
活動・成果目標と実績		2022年度	2023年度	2024年度	最終目標年度 2025年度
	当初見込み／目標値(千円)	13,638,485	15,778,067	24,150,088	28,296,843
	活動実績／成果実績(千円)	13,794,417	15,927,810	24,374,924	--
	達成率(%)	101.1	100.9	100.9	--
事業に関連するKPIが定められている閣議決定等	名前	--			
	URL	--			
	該当箇所	--			

点検・評価

事業所管部局による点検・改善	点検結果	--		
	目標年度における効果測定に関する評価	--		
	改善の方向性	--		
外部有識者による点検	点検対象	公開プロセス	最終実施年度	2025
	対象の理由	--		
	所見	--		
	公開プロセス結果概要	(6月20日 公開プロセス実施予定)		
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見	所見	--	詳細	--
所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況	改善点・反映状況	--		
	反映額	会計	勘定	反映額(千円)
		--	--	--
詳細	--			
公開プロセス・秋の年次公開検証(秋のレビュー)における取りまとめ	--			
その他の指摘事項	--			



支出先上位者リスト (単位：千円)	支出先ブロック名	合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
	A 株式会社IHIほか	12,765,905	3	ガスタービン機関のオーバーホール等役務の請負	
	支出先名	支出額	法人番号		
	株式会社IHI	7,764,208	4010601031604		
	契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
	ガスタービン機関のオーバーホール等役務の請負 随意契約（公募）	7,764,208	1	100	--
	支出先名	支出額	法人番号		
	川崎重工業株式会社	4,954,396	1140001005719		
	契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
	ガスタービン機関のオーバーホール等役務の請負 随意契約（公募）	4,954,396	1	100	--
支出先名	支出額	法人番号			
双日エアロスペース株式会社	47,301	9010401021742			
契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由	
ガスタービン機関のオーバーホール等役務の請負 随意契約（公募）	47,301	1	100	--	
支出先ブロック名	合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割		
B 三菱ふそうトラック・バス株式会社ほか	395,825	3	ディーゼル機関のオーバーホール等役務の請負		
支出先名	支出額	法人番号			
三菱ふそうトラック・バス株式会社	231,084	7020001078696			
契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由	
ディーゼル機関のオーバーホール等役務の請負 随意契約（公募）	231,084	1	100	--	
支出先名	支出額	法人番号			

	株式会社ジャパンエンジンコーポレーション		142,738	3140001036976		
	契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
	ディーゼル機関のオーバーホール等役務の請負 随意契約（公募）		142,738	1	100	--
	支出先名		支出額	法人番号		
	株式会社木村鉄工所		22,003	9420001012349		
	契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
ディーゼル機関のオーバーホール等役務の請負 随意契約（公募）		22,003	1	100	--	
費目・用途 (単位：千円)	支出先名		契約概要（契約名）	費目	用途	金額
	A	株式会社IHI	ガスタービン機関のオーバーホール等役務の請負	艦船修理費	ガスタービン機関のオーバーホール等役務の請負	7,764,209
	B	三菱ふそうトラック・バス株式会社	ディーゼル機関のオーバーホール等役務の請負	艦船修理費	ディーゼル機関のオーバーホール等役務	231,084

国庫債務負担行為等による契約先リスト (単位：千円)	契約先名		契約額	法人番号		
	A	株式会社IHI	4,987,144	4010601031604		
	契約概要(契約名)/契約方式等		契約額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
	ガスタービン機関のオーバーホール等役務の請負 随意契約(公募)		4,987,144	1	100	--
	契約先名		契約額	法人番号		
	A	川崎重工業株式会社	3,827,844	1140001005719		
	契約概要(契約名)/契約方式等		契約額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
	ガスタービン機関のオーバーホール等役務の請負 随意契約(公募)		3,827,844	1	100	--
	契約先名		契約額	法人番号		
	B	株式会社ジャパンエンジンコーポレーション	15,170	3140001036976		
	契約概要(契約名)/契約方式等		契約額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
	ディーゼル機関のオーバーホール等役務の請負 随意契約(公募)		15,170	1	100	--

その他備考

--